

安全重点施策

- 1) 最も優先するのは「お客さまの安全」であるという意識を徹底する。

乗客に対し救命胴衣の着用を促し安全の確保に努める。乗下船時は、転落・転倒防止に注意を払い完了するまで看視する。

- 2) 基本に忠実な操船を行う。

無理な操船を行わず、安全な航行を最優先する。船長 1 人にまかせず、乗組員もできる限り見張りをし、早めの危険回避を行う。

- 3) 安全に関わる情報の共有を図り、未然に事故災害を防止する。

点検と入念なチェックを実施し、的確な引継ぎを行い、機関故障等を発生させない。航路上のブイ・船・漂流物の情報交換を行う。

天候の早目の確認と情報交換を行う。船長・陸務員との意思疎通を図り、安全な離着岸を行う。

- 4) 職場環境を点検整備し、事故災害を未然に防止する。

船舶の点検整備（船体・機関・装備品）、陸上施設（係船具・防舷材・乗船通路等）

- 5) 重要リスクの洗い出しを行い、リスクを早期に発見し、海難事故を未然に防ぐ。

株式会社横浜八景島

代表取締役社長

竹口豊